

令和2年度第5回川西市介護保険運営協議会 意見提出書に対する回答

	意見の分類	意見の内容	回答
1	介護報酬について	見込みと影響額が分かれば教えて下さい。 介護職員の処遇改善は進むのでしょうか。	<p>令和3年度の介護報酬の改定率はプラス0.70%と示されており、このうち、0.05%は新型コロナウイルス感染症に対応するための特例として、令和3年9月までの半年間の改定率として示されていることから、第8期計画期間3か年の影響としてはプラス0.67%を見込んでおります。</p> <p>なお、本市における影響額としましては、約2億4,700万円となっております。</p> <p>令和3年度の介護報酬改定に伴い、事業所の収支は一定改善されると考えられます。また、今後、処遇改善に係る新たな加算等が創設された場合には、市内の介護サービス事業所に対して集団指導などを通じて丁寧に周知を図り、介護職員の処遇改善につながるよう努めてまいります。</p>
2	介護施設について	第7期計画と達成状況を教えて下さい。 2025年(令和7年度)までの整備計画及びさらに長期的な整備計画があれば教えて下さい。 特養の待機者の状況を教えて下さい。	<p>別紙をご参照ください。なお、については2025年(第9期計画期間)を見据えた整備計画を作成しております。</p> <p>特別養護老人ホームの待機者につきましては、令和元年12月末時点で576人となっており、そのうち、兵庫県の入所コーディネートマニュアルにより入所の必要性が高いと判定された方は104人となっております。</p> <p>なお、令和2年12月末時点の待機者数につきましては、現在調査をしております。</p>
3	介護保険料について	第8期の介護保険給付費等の総費用約42.8億円に対応する第7期の総費用の額を教えて下さい。 第8期で準備基金取崩額3億7,600万円を計上していますが、算定の考え方(根拠)を教えて下さい。	<p>第7期計画期間の介護保険給付費等の総費用は、約37.9億円となる見込みです。</p> <p>令和2年度末の基金残高見込みは、約9億2,728万円となっており、第8期計画期間の取崩額を算定するにあたり、保険給付費の予期せぬ増加に備えて2億円留保することとし、また、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年(第9期計画期間)を見据え、制度の持続可能性を維持するため、残りの約7億2,000万円の50%相当額の3億7,600万円を取り崩すこととしております。</p>
4	訪問リハビリについて	法的に使い勝手が悪くないため、実数が下がってきているが、予算は拡充していることが疑問です。	<p>訪問リハビリについては、介護予防給付、介護給付ともに令和2年度の実績見込額が前年度を下回っており、新型コロナウイルス感染症による利用自粛等が影響しているものと考えております。</p> <p>しかしながら、令和2年度までは前年度を上回る給付実績となっており、令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響も一定緩和されると見込んでいることに加え、介護予防の推進に必要なサービスであると考えていることから、第8期計画期間においては介護予防給付、介護給付ともに伸びていくと推計しております。</p>

令和2年度第5回川西市介護保険運営協議会 意見提出書に対する回答

第7期計画期間中の介護サービス基盤の整備の達成状況について

分類	サービス種別	計画値	実績	備考
居宅系サービス	特定施設入居者生活介護	50人	100人	実績は第6期計画分50人分含む
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	30人	0人	公募実施するも不調により未整備
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	29人	29人	実績は第6期計画分。 第7期は公募実施するも不調により未整備
	看護小規模多機能型居宅介護	29人	29人	
施設サービス	介護医療院	0人	12人	
計		138人	170人	第7期計画に基づく整備量は91人

第8期計画期間中の介護サービス基盤の整備について

分類	サービス種別	計画値	備考
居宅系サービス	特定施設入居者生活介護	50人	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	30人	
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	29床	
	看護小規模多機能型居宅介護	29人	
施設サービス	介護医療院	10床	増設を予定
計		148人	

第9期計画期間にあたる令和7年(2025年)までに必要な整備量として415人を見込んでおり、第7期計画期間に整備した170人分、第8期計画期間に整備予定の148人分を除いた97人分を第9期計画期間に整備していきます。

なお、第9期計画期間にどのような施設を整備していくかについては、介護需要の将来推計を踏まえ、市立川西病院跡地に地域包括ケアシステムの拠点となる施設を整備することを念頭に置き検討していきます。